

CO₂フリー電源の大間原子力発電所建設計画を推進

- ・ 安全確保を最優先に大間原子力発電所計画を推進
- ・ 安定的に大量の電力を生み出せるCO₂フリー電源
- ・ MOX燃料の使用により、日本全国の原子力発電所の安定稼働に貢献

建設地点	青森県下北郡大間町
出力	1,383MW
原子炉形式	改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）
燃料	濃縮ウラン、及びウラン・プルトニウム混合酸化物（MOX）
着工	2008年5月
運転開始	未定
現在の状況	2014年12月に新規制基準に基づく原子炉設置変更許可申請書及び工事計画認可申請書を提出し、原子力規制委員会による適合性審査を受けているところ。

大間原子力発電所建設状況



大間原子力発電所では、使用済燃料をリサイクルして作るMOX燃料を日本で唯一全炉心で使用できるため、日本全国の原子力発電所から出た使用済燃料の再処理が進むことで、削減につながります。これにより日本の原子力発電所の安定稼働に寄与し、資源に乏しい日本のエネルギー自給率の向上とともにCO₂削減に貢献します。